



和食文化ネットワーク近畿

【情報提供 第 55 号 2023/10/12】



【ちょっとコラム】



ずいぶん涼しくなり、楽しみが増す食欲の秋、皆さん栗はお好きでしょうか。

栗の中でも、『丹波くり』は、栗の品種ではなく、丹波地方で採れるものをいい、昔の丹波国（現在の京都府中部、兵庫県東辺の一部、大阪府北辺の一部）から産出された栗の総称です。

奈良時代から平安時代になると、栗は宮廷貴族の食べ物として、穀物・果物の中で最も重要視されるようになり、献上品や物納品としての栗づくりが盛んになりました。

特に、丹波国は天領や寺社領地が多く、宮廷や寺院とのつながりが深かったことから栗づくりが発達したと考えられています。

丹波くりの美味しさのヒミツは、気候と風土に恵まれているからだといわれています。

京都府を例にとると由良川とその深谷という地形により夜は気温が下がる割に日中の気温は高いため、昼夜の気温差がかなりあります。

この「昼夜の気温差」が美味しさを生み出し、特に「夜の気温が下がる」ということは、いわゆる栗の木の呼吸による糖分の消耗がおさえられ、その分、実に糖分が蓄積されることになるため、味も香りも良いものができるのです。

一方で現在の京都府内の栗の生産量は、栗の樹の高齢化、生産者の高齢化・減少、獣害の増加による生産意欲の減退など、最盛期であった昭和 53 年の 1,500 トンから、令和 2 年度には約 100 トンとおおよそ 15 分の 1 にまで減少していますが、生産者の努力もあり横ばいを維持しています。

（京都府ホームページより）

【目次】

1. 農林水産省

- ▶ 和食文化普及イベント、全国で好評開催中！
- ▶ 広報誌 aff（あふ）最新号 連載「未来につなぐ和食」第 2 回 好評掲載中
- ▶ 訪日外国人に日本の食・食文化の魅力を伝える食体験コンテンツ「食かけるプライズ 2023」表彰事例 10 件を決定！

2. 会員様からのお知らせ

- ▶ 一般社団法人日本菊芋協会 キクイモニスト 美紀様

3. 事務局からのお知らせ

1. 農林水産省

農水省主催和食文化普及イベント、全国で好評開催中！

和食がユネスコ無形文化遺産に登録されて今年で10周年を迎える契機として、農林水産省が現在全国で開催中の和食文化普及イベントは、先日大阪会場が無事に終了しました。

ご参加いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

引き続き、10月23日（月）福岡会場について申込受付中です！（申込締切10月22日）

大阪会場同様、オフライン・オンライン併用開催となりますので、ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。

詳細は以下のとおり、QRコードよりお申し込みください。



つなげよう、ひろげよう、和食の“わ”in福岡

10月23日（月）開催

開催時間：13:00～16:20（予定） 場所：アクロス福岡イベントホール（地下2階）

参加費
無料

和食が「ユネスコ無形文化遺産」に登録されて10周年！

おいしく健康な和食を広めるために
和食文化の振興に携わるメンバーが集まってシンポジウムを開催します。
各家庭で和食を作り、家族でおいしく食べることで和食文化を継承しましょう。

基調講演

13:00～14:00

【テーマ】サステナブルな和食

全国各地に多様な食文化が継承されていることにあらためて目を向け、各地の食文化や食生活の持続可能性を今後継承すること、食料生産者・料理人・消費者が関係することの重要性について調査いたします。



堀内 さやか氏
料理研究家・店主
1977年、山梨県生まれ。
17歳のとて料理人を目指し、高校卒業後上京。調理師専門学校へ。卒業後は都内の和食・ホテル等で修行を積み、2017年1月に独立。虎ノ門に「料理研究家・店主」を開設。

パネルディスカッション

14:15～15:15

【テーマ】地域の多様な和食文化を未来に残すために

豊かな食文化遺産を基に多様な和食文化を生き留め、地域文化の食文化が歴史の宝庫に育つ中、多様な地域文化を継承・継承するための方策について調査いたします。



パネリスト
堀内 さやか氏
料理研究家・店主



パネリスト
飯田 第一氏
京都府立大学和食文化
研究センター 客員教授
ふじのくに地域振興史
ミュージアム 館長



パネリスト
橋本 光太郎氏
「食の祭典小学校」校長
フードジャーナリスト
一般社団法人Blue
協会 会長



ファシリテーター
佐々木 ひろこ氏
「食の祭典小学校」校長
フードジャーナリスト
一般社団法人Blue
協会 代表理事

交流会

15:20～16:20

和食文化の振興や継承に携わるメンバーがそれぞれの取り組みや活動を紹介し、パネルディスカッション参加者と意見交換をしたりする場です。参加者と参加者、また参加者同士のリアルな交流を通じて、和食文化への思い、自由なアイデアなどを交換し、新たな共創がスタートすることを期待しています。
和食に興味がある方、和食文化の振興に関する具体的な活動内容を知りたい方、パネルディスカッション後継者に質問してみたい方も、ぜひご参加ください。

詳細・お申込みは
こちらから



<https://washoku10th.com/fukuoka/seminar/>

主催
農林水産省

お問い合わせ先

和食文化普及イベント事務局 info@washoku10th.com

農林水産省 令和4年度日本食・食文化体験による輸出促進支援事業（和食文化の国内外への情報発信・普及啓発委託事業）

広報誌 aff（あふ）最新号 連載「未来につなぐ和食」第2回 好評掲載中

農林水産省の広報 Web マガジン「aff（あふ）」にて、未来を担う子どもたちが専門家に和食の疑問を直撃する連載「未来につなぐ和食」の第2回、料理人 荻野聡士氏へのインタビュー記事が掲載されましたので、ぜひご一読ください。

詳細はこちら：[連載 未来につなぐ和食「インタビュー 荻野聡士」：農林水産省（maff.go.jp）](https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230927.html)

奇数月
連載

7月・9月・11月・1月・3月更新

未来につなぐ和食

未来を担う子どもたちが、専門家に和食の疑問を直撃



～訪日外国人に日本の食・食文化の魅力を伝える食体験コンテンツを～
「食かけるプライズ 2023」表彰事例 10 件が決定！

今年5月から7月にかけて募集していた「食かけるプライズ 2023」について、108 件の応募があり、その中から 10 件の表彰事例が決定しました。

詳細はこちら：<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230927.html>

事例概要、添付資料：[230927-3.pdf \(maff.go.jp\)](https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230927-3.pdf)、[syokukakeru-8.pdf \(maff.go.jp\)](https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/syokukakeru-8.pdf)

2. 会員様からのお知らせ

和食文化ネットワーク近畿の会員様である、一般社団法人日本菊芋協会 キクイモニスト 美紀様より情報のご提供をいただきましたので以下掲載させていただきます。

熊本で菊芋の生産に関わり今年で13年目となります。

菊芋の食べ方、料理教室、菊芋茶づくり、ティーサロン、栽培方法などの食育活動に努めております。

また、震源地だった益城町で熊本地震を経験したことから、菊芋をはじめ野菜の防災食などのワークショップも行っています。

現在は熊本と関西・大阪の2拠点にて活動しています。

何か機会がございましたら宜しくお願い申し上げます。

<キクイモニストになろう>

<https://kikuimo.org/>

<インスタグラム>

<https://www.instagram.com/kikuimonist/>

一般社団法人日本菊芋協会

キクイモニスト 美紀

3. 事務局からのお知らせ

(1) 当メールマガジンへの掲載記事を募集します！！

地域の和食文化ネットワーク近畿では、食文化の保護・継承活動に関する情報を発信しております。

当メールマガジンを通じて、会員様主催のイベント等のご案内、会員様の取組紹介や地域に伝わる食文化の情報など発信しませんか。

会員の皆様から、広く発信・共有したい情報等がございましたら、以下をご記入の上、本メールにご返信願います。

- ・タイトル (30 字以内)
- ・本文 (300 字以内)
- ・URL

これを機に会員の皆様方の交流及び情報内容の充実が図られればと思いますので、積極的なご活用をお待ちしております。(投稿内容が営利目的など不適切な内容と判断される場合には、掲載を見おくらせていただく場合

がございました。)

(2)「地域の和食文化ネットワーク近畿」の会員募集中！！

近畿農政局では、地域における多様な食文化の保護・継承を継続的に進めるため、近畿地域の関係者をつなぐ

「地域の和食文化ネットワーク近畿」の会員を募集しております。

会員の皆様におかれましては、お知り合いの方にご案内いただけますと幸いです。

https://www.maff.go.jp/kinki/keiei/tiiki_syokuhin/wasyoku/210701.html



地域の和食文化ネットワーク近畿 事務局



窓 口：近畿農政局 経営・事業支援部 食品企業課

住 所：京都市上京区西洞院通下長者町る丁子風呂町

電 話：075-414-9024

メール：wasyokubunkanw.kinki@maff.go.jp

情報セキュリティ強化のため、農林水産省外へのメールは、宛先を bcc で設定してお送りしています。ご了承ください。

※配信先変更や配信の停止並びに会員情報の変更についても、このメールに返信願います。

<本省の Web サイト（和食文化ネットワーク）>

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

<近畿農政局の Web サイト（和食・食文化）>

https://www.maff.go.jp/kinki/keiei/tiiki_syokuhin/wasyoku/index.html

<その他>

近畿農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>